

床下削孔

沈下修正工事には、掘削作業（外周掘削のことで、本構造物や近隣への影響が懸念される）や一階部分フローリング剥ぎ取り（フローリングや床暖房などの工事後の修繕費、生活できないための仮住居生活）、が必要な場合が多いが、JOG工法の特長でもある、非掘削作業、生活しながらの工事、余分な修繕費用がかからない工法として期待に背かないよう、作業可能な限り努力します。



床下削孔状況



配線口設置

(一箇所です 8本)

サイクルタイム調整

(複数の注入孔を一巡して再び同じ注入孔に戻ってくる迄の時間)

サイクルタイム < ゲルタイム

先に注入されたグラウトのゲル化が始まらない(液体)うちに、後続のグラウトが注入されるため、浸透し易く、注入領域は拡がり易い反面、地盤隆起は起き難い。

サイクルタイム > ゲルタイム

先に注入されたグラウトがゲル化し、固結強度が発現し始めて(固体)から、後続のグラウトが注入されるため、割裂注入主体になり、注入領域が拡がり難い反面、地盤隆起は起き易い。

